

重点計画用語集

No.	用語	分かりやすい表現又は説明	備考
1	5G	第5世代移動通信システム	
2	API	システムやソフトウェアが公開している機能を外部から利用するためのプログラム上の規約	
3	BCP	事業継続計画	
4	Beyond 5G	第5世代移動通信システムの次の世代の移動通信システム（いわゆる6G）	
5	BPR	業務改革	Business Process Reengineeringの略
6	CRYPTREC暗号リスト	CRYPTRECは、電子政府推奨暗号の安全性の評価と監視を行い、暗号技術の適切な実装と運用方法の調査と検討を行うプロジェクトであり、CRYPTRECによる安全性及び実装性能の確認レベルに応じて、電子政府推奨暗号リスト、推奨候補暗号リスト、運用監視暗号リストに分けられる	
7	DADC	デジタルアーキテクチャ・デザインセンター	Digital Architecture Design Centerの略
8	DFFT	信頼性のある自由なデータ流通	
9	Digital Identity Wallet	ユーザの秘密鍵を管理し、ユーザが秘密鍵を使ってトランザクションを実行するためのウォレットアドレスなどの情報の保持と、ユーザインタフェース（Webブラウザやスマートフォンアプリの操作画面など）の提供を行うもの	
10	DMAT	災害派遣医療チーム	
11	DX	デジタルトランスフォーメーションのこと	Digital Transformationの略
12	EBPM	証拠に基づく政策立案	
13	EDI	電子データ交換	Electronic Data Interchangeの略
14	eKYC	オンラインでの本人確認	electronic Know Your Customerの略
15	EMIS	広域災害医療情報システム	
16	GiF	政府相互運用性フレームワーク	Government Interoperability Frameworkの略
17	GIGAスクール構想	1人1台端末、通信ネットワーク等の学校ICT環境を整備・活用することで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実など教育の質を向上する構想	
18	GSOC	政府関係機関情報セキュリティ横断監視・即応調整チーム。各機関に設置したセンサーを通じた政府横断的な監視、攻撃等の分析・解析、各機関への助言、各機関の相互連携促進及び情報共有を行うためのGSOCシステムを運用する体制のこと。2008年4月から運用を開始した政府機関等に対する監視体制（第一GSOC）と、2017年4月から運用を開始した独立行政法人等に対する監視体制（第二GSOC）がある。	Government Security Operation Coordination teamの略 通称、GSOC（ジーソック）
19	IoT	モノのインターネット	
20	IPA	独立行政法人情報処理推進機構	
21	ISMAP	政府情報システムのためのセキュリティ評価制度のこと。政府が求めるセキュリティ要求を満たしているクラウドサービスを予め評価・登録することにより、クラウドサービス調達におけるセキュリティ水準の確保を図り、もってクラウドサービスの円滑な導入に資することを目的としている。調達府省庁等は、「ISMAPクラウドサービスリスト」に掲載されているクラウドサービスの中から調達を行うことを原則とする。	Information system Security Management and Assessment Programの略 通称、ISMAP（イスマップ）
22	MaaS	スマホアプリにより、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済等を一括で行うサービス	
23	NICT	国立研究開発法人情報通信研究機構	
24	PDCA	Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）という一連の過程を繰り返す、業務を継続的に改善する手法。	
25	PDS	他者保有データの集約を含め、個人が自らの意思で自らのデータを蓄積・管理するための仕組みであり、第三者への提供に係る制御機能を有するもの	Personal Data Storeの略
26	PETs	プライバシー強化技術	
27	PHR	生涯にわたる個人の保健医療情報	
28	PJMO	プロジェクト推進組織	ProJect Management Officeの略
29	PMO	府省内全体管理組織	Portfolio Management Officeの略
30	PPP/PFI	官民連携	
31	Society 5.0	仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会	
32	Trusted Web	データのやり取りなどで必要な信頼の仕組みをあらかじめ埋め込んだ、次世代のインターネットインフラ	
33	UI	ユーザーインターフェースの略。画面や音声入出力、キーボードなど、システムにおいて、ユーザーに対する情報提供や操作手段に関係する要素のこと。	JIS Z 8520 3.9
34	UX	ユーザーエクスペリエンスの略。あるサービス（システム）を使う過程で起きるユーザーの知覚および反応。（ニーズが適切に満たされることで）達成感を感じたり、システムを快適に利用できる。	JIS Z 8530 3.15
35	VRS	ワクチン接種記録システム	Vaccination Record Systemの略

重点計画用語集

No.	用語	分かりやすい表現又は説明	備考
36	Web3.0	ピアツーピア、分散型台帳、トークン経済などによって構成される分散アプリケーション環境を指す概念として、2014年にイーサリアムの共同設立者ギャビン・ウッドによって提唱されたが、明確な定義が定まっているものではない	「ピアツーピア (P2P、Peer to Peer)」：クライアント兼サーバとして振舞う端末群によって自律・分散的に構成される通信ネットワーク。 「トークン経済」：プロジェクト群が中央集権的な管理者の存在なしに、個人や組織、資産について分散的・自律的に動き回る経済圏。
37	Well-being	地域幸福度	
38	アーキテクチャ	システムの基本的・抽象的な構造設計や設計思想のこと	
39	アクセシビリティ	(製品やサービスを) 利用できること、またはその到達度のこと	
40	アクセスコントロール	権限管理	
41	アジャイル	日々生じる変化にすばやく適応するため、短期間で実装と改善を繰り返す手法	
42	アシュアランスレベル	保証レベル	
43	アセットマネジメント	社会資本を長期的な視点で効率的かつ効果的に運用するための体系化された取り組み	
44	イコール・フットイング	平等な競争環境のための条件の同一化	
45	イニシアチブ	主導権	
46	イノベーション	技術革新	
47	インターフェース	複数の異なるものの接点。「人と機械」「システムとシステム」などの異なるもの間を仲介するところ。	
48	ウェブアクセシビリティ	ウェブ上で提供される情報を、高齢の人、障害がある人を含めて全てのユーザーが利用できること。音声読み上げソフト等のような端末や技術の違いがあっても、同じ情報を利用できることが望ましい。	JIS X 8341-3
49	エンドツーエンド	最初から最後まで	
50	エンドユーザー	最終的な利用者	
51	オープン・バイ・デフォルト	公共データは国民共有の財産であるとの認識に立ち、行政が保有するデータはすべてオープンデータとして公開することを原則とし、国民誰もが容易に利用可能な状態にしておくこと	
52	オープンガバメント	行政情報の管理・公開・提供、国民の政策形成過程への参加	
53	オープンソース	ソースコードが公開されており、再頒布が自由であること	
54	オープンデータ・バイ・デザイン	公共データについて、オープンデータを前提として情報システムや業務プロセス全体の企画、整備及び運用を行うこと	
55	オンデマンド交通	ドアツードアサービス、希望する時間に利用可能といったように、利用者の需要にあわせた柔軟性に優れた交通手段	
56	カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出量から吸収量を差し引いて合計を実質的にゼロにすること	
57	ガバナンストークン	一般にコミュニティの意思決定に係る投票権（議決権）が付与されたトークンのことを指す	
58	ガバナンスフレームワーク	管理のための枠組み	
59	ガバメントクラウド	デジタル庁が求める技術要件を満たす複数のクラウドサービスにより整備する、国・地方公共団体等が利用可能なクラウドサービスの利用環境	
60	ガバメントクラウドテンプレート	ガバメントクラウドで準備するシステム環境構築時の雛形として利用可能な機能等	
61	ガバメントソリューションサービス	政府共通の標準的な業務実施環境（業務用PCやネットワーク環境）を提供するサービス	
62	クラウド・バイ・デフォルト原則	政府情報システムを整備する際に、クラウドサービスの利用を第一候補とする原則	
63	クラウドネイティブ	クラウドサービスの利用を前提としたシステム	
64	グリーンイノベーション	環境・資源・エネルギー等の問題解決に資する技術革新	
65	コネクテッド・ワンストップ	複数の手続が一カ所で実現	
66	サービスデザイン	顧客体験のみならず、顧客体験を継続的に実現するための組織と仕組みをデザインすることで新たな価値を創出するための方法論	2020年度経済産業省調査研究から
67	サービスベンダー	サービス提供事業者	
68	サイバー・フィジカル・セキュリティ対策フレームワーク (CPSF)	サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより実現される「Society5.0」における新たなサプライチェーン全体のサイバーセキュリティ確保を目的として、産業に求められるセキュリティ対策の全体像を整理したもの	The Cyber/Physical Security Frameworkの略
69	サイバーポート	民間事業者間の港湾物流手続（港湾物流分野）、港湾管理者の行政手続や調査・統計業務（港湾管理分野）及び港湾の計画から維持管理までのインフラ情報（港湾インフラ分野）を電子化し、これらをデータ連携により一体的に取扱うデータプラットフォーム	
70	サイロ化	個別最適化が進んだ結果、全体最適になっていないこと	
71	サテライトオフィス	企業等が本拠から離れたところに設置する遠隔勤務のためのオフィス	
72	シェアリングエコノミー	個人等が保有する活用可能な資産等（スキルや時間等の無形のものを含む。）をインターネット上のマッチングプラットフォームを介して他の個人等も利用可能とする経済活性化活動	

重点計画用語集

No.	用語	分かりやすい表現又は説明	備考
73	シビックテック	市民（シビック）とテクノロジー（テック）を組み合わせた造語。市民がテクノロジーを活用して地域の課題などを解決すること。	
74	シングルサインオン	認証を必要とする複数のシステムに対して、最初に1回だけ認証を行うことにより、その後の認証をすべてシステムにより自動化する技術	
75	スケールメリット	規模拡大の利益	
76	スタートアップ・エコシステム	産官学等の連携を通じた人材、資金等の活用により、スタートアップが創出され、また、創出されたスタートアップが持続的に事業展開する仕組み	
77	ステークホルダー	利害関係者	
78	セキュア	セキュリティが確保された	
79	セキュリティ・バイ・デザイン	企画設計の段階からセキュリティ対策を組みこむこと	
80	ゼロトラスト	端末、アプリケーション、ネットワーク等を含む組織内外の全てを「信用できないもの」として、全ての通信を検査及び認証する、セキュリティ対策の考え方	
81	タイムスタンプ	電子データがある時刻に存在し、その時刻以降に当該データが改ざんされていないことを証明する仕組み	
82	ディープラーニング	深層学習	
83	データ・ディクショナリ	データの意味の相互変換を実現するための辞書	
84	データマネジメント	データを保有し活用するための管理手法	
85	デジタル・ガバメント	デジタル政府	
86	デジタル・グリーン	デジタル技術を活用した環境問題解決に資する技術	
87	デジタル・セーフティネット	デジタル社会において、「支援を必要とする方に手が差し伸べられ、迅速な支援が受けられる環境を整備し、官民それぞれが持つ情報と住民との接点を最大限活かして住民に寄り添った支援を行うといった」仕組み	
88	デジタルインボイス	売り手と買い手間で代金の請求のためにやり取りされる文書の電磁的記録（電子インボイス）のうち、マシン・システムで自動処理することを前提とした構造化されたデータによるもの	
89	デジタルシフト	デジタルへの移行	
90	デジタルツイン	現実空間と仮想空間を行動に融合させたシステム	
91	デジタルトランスフォーメーション	将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して組織・業務モデルの柔軟な改変・新たな創出をすること	
92	デジタルファースト	手続が一貫してデジタルで完結	
93	デジタルマーケットプレイス	ITサービス事業者によるサービスの価格、仕様、利用規約を登録してもらい、これをウェブサイトに公開、行政機関が要件に合わせて検索することで幅広いサービスから適切なサービスを選択し、競争性を確保しながら短期間で調達を可能とする仕組み	
94	デジタルリテラシー	情報活用能力	
95	テストベッド	実証基盤	
96	トラスト	電子取引における本人性や電子文書の真正性などの信頼性	
97	トレーサビリティ	サイバー事案等に対する事後追跡可能性	
98	ナショナルサート機能	深刻なサイバー攻撃に対し、情報収集・分析から、調査・評価、注意喚起の実施及び対処と、その後の再発防止等の政策立案・措置に至るまでの一連の取組を一体的に推進するための総合的な調整を担う機能	
99	バックオフィス	利用者が直接見たり触れたりしない領域のこと。または、総務や経理、会計などの、顧客対応を行わない後方支援業務のこと。	
100	ビッグデータ	ボリュームが膨大でかつ構造が複雑であるが、そのデータ間の関係性などを分析することで新たな価値を生み出す可能性のあるデータ群のこと。例えば、利用者が急激に拡大しているソーシャルメディア内のテキストデータ、携帯電話・スマートフォンに組み込まれたGPS（全地球測位システム）から発生する位置情報、時々刻々と生成されるセンサーデータ等がある。	
101	プッシュ型	対象者からの申請を待たず、行政機関などが対象者を抽出してサービスなどを提供すること	
102	プラットフォーム	システム・サービスを稼働させるための基盤	
103	ブローカー	データ仲介者	①データ翻訳機能と②認証送達機能を持った、データ連携基盤に必ず必要となる部品（ビルディングブロック）又はデータ提供者とデータ利用者などをつなぐ役割
104	ブロックチェーン	分散型台帳とも呼ばれ、特定の帳簿管理者を置かず、参加者が同じ帳簿を共有しながら資産や権利の移転などを記録していく情報技術	
105	プロトタイプ	試作システム	
106	フロントエンド	手続き	本重点計画の記述に即した表現
107	フロントサービス	利用者向けサービス	
108	分散型アイデンティティ	ユーザのデジタルアイデンティティが特定のプロバイダーに依存しないよう、その依存度を下げることが目的とする仕組み	
109	ベース・レジストリ	正確性や最新性が確保された社会の基盤となるデータベース	

重点計画用語集

No.	用語	分かりやすい表現又は説明	備考
110	ベンダーマネジメント	プロジェクトを成功させるため、発注、業務管理、折衝等を通じて、委託事業者（ベンダー）を適切に管理すること	
111	ベンダーロックイン	情報システムなどの中核部分に特定の企業の製品やサービスなどを組み込んだ構成にすることで、他社製品への切り替えが困難になること	
112	マスターデータ	概念を説明するデータであり、かつその説明内容が複数領域からの参照に耐えうるだけの正確性が担保されているデータ	
113	マネージドサービス	通信サービスやITサービスなどのうち、サービスの利用に必要な機器やソフトウェアの導入や管理、運用などの業務も一体的に請け負うサービス	
114	ミッションクリティカル	特定の業務の遂行に不可欠な要素	
115	メインフレーム	大型汎用コンピュータ	
116	メタバース	コンピューターやコンピュータネットワークの中に構築された、現実世界とは異なる3次元の仮想空間やそのサービス	
117	モジュール	部品機能	
118	モビリティ	人やモノの移動、移動手段	
119	ユーザビリティ	機能やサービスの使いやすさのこと。十分な機能が備わっており、効率的で、ユーザーが満足できる度合い。	
120	ユースケース	利用場面	
121	リカレント教育	学校教育からいったん離れたあとも、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていくための社会人の学び	
122	リスクベース	リスクの度合いに応じた	
123	リスクマネー	回収不能になる危険を負って高い見返りを得ることを狙う資金	
124	レジリエンス	サイバーセキュリティに関して、インシデントが発生した際に、その影響を最小化し、早急に元の状態に戻す仕組みや能力のことを指す。サイバー攻撃に対する耐性のこと。	
125	レセプト	診療報酬明細書等	
126	ロードマップ	工程表	
127	ワンスオンリー	情報の提出は一度限り	